

◆科目名Course Title			
環境と人間（競馬の世界）			
◆授業担当教員Instructor			
片桐 成二			
◆開講学期Semester	前期	◆対象学年Year	1年～
◆履修可能人数Capacity	遠隔	◆単位数Number of Credits	2
	オンライン 40人	◆授業形態Type of Class	講義
	オンデマンド		
	対面		

◆キーワードKey Words			
日本中央競馬会, 馬、文化、歴史、法律、規制			
◆授業の目的Course Objectives			
◆授業概要Course Description			
わが国では競馬すなわちギャンブルという印象がありますが、本授業では馬を生産する農場、競走馬としてのトレーニング施設、競馬場施設の設計、建設維持、テレビ放映および収益金による公益事業など様々な領域で多くの関係者が関わっています。本授業では、こうした人々の役割を中心に産業としての競馬を解説し、あわせて日本では馴染みの薄い馬の文化についても紹介します。			
◆到達目標Course Goals			
1. 日本の競馬を支える人々とその役割を説明できる。			
2. 競馬の運営に関わる法律、その他のルールについて説明できる。			
3. 競馬の運営手法を学ぶことを通して、興行、組織運営、国際ルールへの対応などについて説明できるようになる。			
4. 日本の馬文化について例を挙げて説明できる。			
◆授業計画Course Schedule			
「競馬の世界」に関わる専門家が以下のトピックについて講義するとともに、競馬の現場を見学することで講義内容の理解度を深める、全15回分の授業を行う。			
1. 競馬・JRAの概要（4月6日）【総合企画部経営企画室 眞下聖吾専門役】 オリエンテーションとして、競馬や施行団体であるJRAの概要を知り、近隣にある札幌競馬場の歴史についても学ぶ。			
2. 馬事振興への取組み（4月13日）【馬事部馬事振興室馬事振興課 荒川昌久課長補佐】 馬という動物を広く知るために実施している乗馬普及活動や各種イベント等について学ぶ。			
3. 競馬のコンピュータシステムと情報サービス（4月20日）【総合企画部経営企画室 大野登専門役】 より便利にお客様が馬券を購入いただけるように発展してきたコンピュータシステムと、データを活用した情報サービスについて学ぶ。			
4. 馬の繁殖学（4月27日）【北海道大学 片桐成二（獣医学研究院・教授・科目責任者）】 馬とはどんな動物なのか。繁殖学の面から掘り下げて学ぶ。			
5. 競馬番組（5月11日）【競走部番組企画室 奥田裕之調査役】 中央競馬は年間を通じて、予め決められた番組に従ってレースを実施している。質の高い出走馬による、内容と頭数の充実した競走を提供するためのプログラム編成の考え方と実際について解説する。			

6. JRAのギャンブル等依存症対策（5月18日）【総合企画部経営企画室 井上勇調査役】

お客様が末永く安心して競馬をお楽しみいただけるように、JRAが実施しているギャンブル等依存症対策について学ぶ。

7. 世界の競馬（5月25日）【国際部国際企画室 山本修室長】

競馬の世界は、国内に留まらない。競馬の国際的な広がり学ぶ。

8. 馬の解剖学（6月1日）【北海道大学 昆泰寛（獣医学研究院・教授）】

馬とはどんな動物なのか。解剖学の面から掘り下げて学ぶ。

9. 競技場としての競馬場（施設・馬場）（6月8日）【施設部 中山親生上席調査役】

競馬場をスポーツ競技場として見て、その特色を学ぶ。

10. 競走馬の生産（6月15日）【日高育成牧場 遠藤専門役】

「競走馬のふるさと」と言われている北海道。その生産の現場について学ぶ。

11. 映像コンテンツとしての競馬（6月22日）【お客様部事業統括室映像企画課 藤沢流課長】

レース映像の撮影方法や、映像コンテンツの歩みと担ってきた役割、今後の展開等について学ぶ。

12. 競走馬の学術的研究（6月29日）【競走馬総合研究所運動科学研究室 大村一室長】

競走馬のバイオメカニクスや運動生理学について、有名馬を題材にして学ぶ。

13. プロモーション戦略（7月6日）【プロモーション部メディアプロモーション課 三橋亮一課長補佐】

より多くのお客様に競馬を楽しんでいただくために行っているプロモーションについて学ぶ。

14, 15.. 競馬場見学

パークウインズ（場外発売所）として営業している札幌競馬場を見学し、実際の競馬を体感する。

注意事項

授業計画は、講師派遣の都合により前後する場合があります。また、競馬場見学は6月～7月の土曜日に実施する予定であるが、COVID-19の感染状況およびオリンピックの準備状況によっては中止となる場合があります。見学が実施される場合でも、都合により見学に参加できない場合にはレポート提出などでの対応となる。初回オリエンテーションにおいて、授業計画・日程の最終案を周知し、その後の変更については随時授業中およびELMSにより周知する。

◆成績評価Grading System

授業毎に前回の講義内容の理解度を確認する小テストを実施する。小テスト(90%)と札幌競馬場の現地見学に対するレポート(10%)により理解度を総合的に判定し、成績を評価する。

◆テキストTextbooks

◆参考書Reading List

◆準備学習Homework

配付資料を事前に確認すること。授業中に指示される参考図書等により授業内容の理解を深める。

◆オフィスアワーOffice Hour

◆連絡先E-mail

◆質問・相談への対応方法Contact Information

❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information